

占 春 会 報

第10号

発行 八尾市大字千塚102 大阪府立清友高等学校
占春会事務局 TEL (0729) 41局3456

創立以来38年の長い年月を経て本年四月一日より大阪府立清友高等学校として校名もそのまま府に移管されました。在校生や六千五百人近くになる卒業生、その保護者、教職員の先生方、一丸となつての切実な願いが聞き入れられて清友の名が残り、ここ千塚の地に壮麗な校舎と共に再発足致しました。この間多くの方々が滅私の心でご協力下さいました事を皆さんにご報告致します。

伝統の重さの中で

占春会長 河合 聿子

校章は、男子生徒も使用出来るようにと、着色をやめ銀一色になりましたが、厳寒にも堪えて咲く梅の花、汚れなき清冽な水の心を表わす梅と水に象じられた校章の形はそのまま引き継がれました。

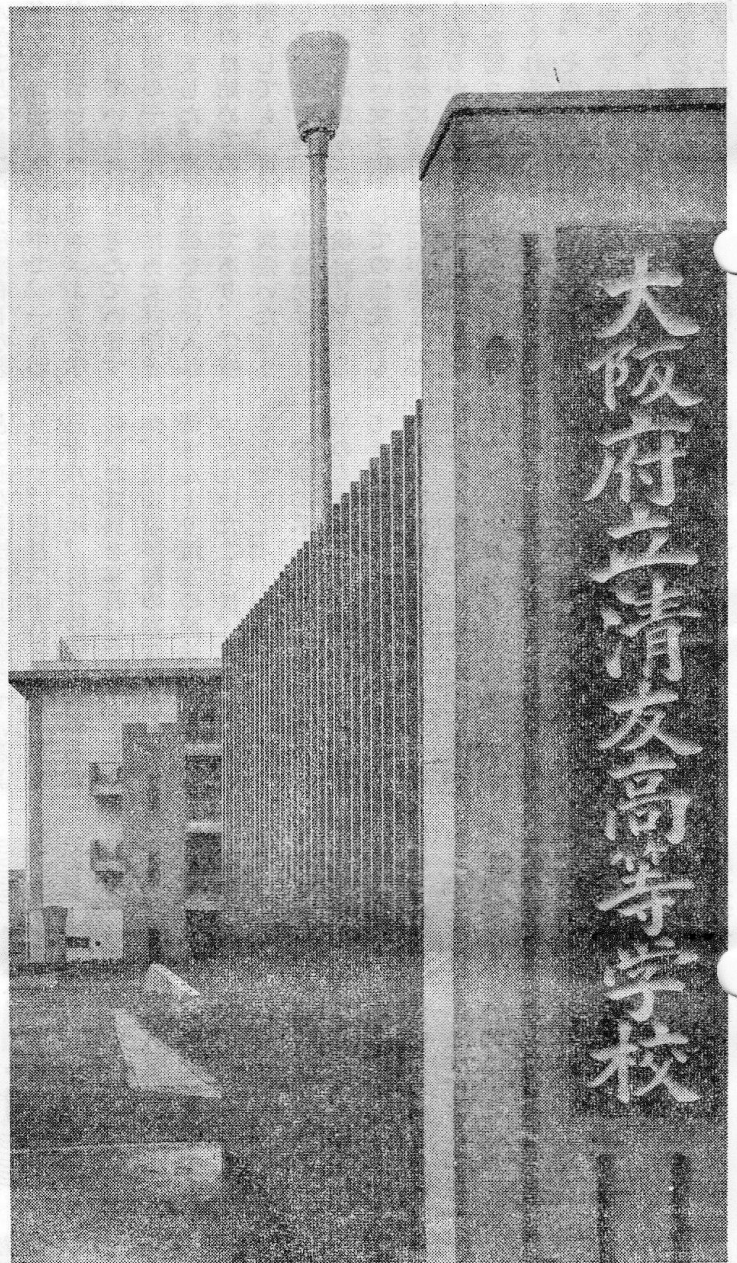
校歌は、初代校長、生田鹿之丞先生作詞、現音大初代校長、永井幸次先生作曲の校歌(皆さんが唱い続けて来た校歌です)一番は、生駒嶺の風影を愛で、校章の心を歌い、二番は、歴史豊かな河内野のほとりの学び舎で、勉学出来る事の幸わせを語り、内に謙虚さを秘め、力強く人生に立ち向って行こうと結んであるのです。これは男子生徒が唱っても少しも不自然さはないという同窓会の意向が聞き入れられてそのまま引き継がれました。ご理解下さいましたことを非常に嬉しく思います。

只一つ残念なことは、設立の心で生まれた清楚なデザインであった制服が交ってしまつたことです。新設校ではないと唱え続けてきましただけに非常に残念に思います。この件に関しては、最後まで同窓会は、同意しなかったことを、記録に残しておきます。

校名、校章、校歌、制服とやましくいうようですが、元号が云々されている昨今、何十年か後に、在校生や、卒業生達が、誇り高く答えてくれるであろうと信じて止みません。

今年からは、男子生徒を迎え、男女共学校として、画期的なスタートを切つた私達の母校、長い伝統の上に更に加わる力強い、新しい息吹き、三年後の男子生徒の同窓会への入会を今から心待ちにしております。

はばたく母校清友の発展を祈りながら、皆さんへのご報告と致します。



54年度
総会ご案内

七月二十二日(日)
午後一時～三時
場所 母校教室
一部 総会
新入会員歓迎会
決算報告
二部 新校舎見学
食堂開放します。ク
ラス会などいかが?

校長随想



校長 小西 康弘

本年の四月一日をもって、八尾市立清友高等学校は大阪府に移管され、大阪府立清友高等学校となりました。思えば長い道のりでした。昭和四十七年に府立移管の約束を大阪府よりとりつけてから、七年の歳月が経過しています。この間、移転用地をめぐって二転、三転し、現在の場所を決ってから、地主全員の同意をとりつけるのに非常に時間がかかり、又用地買収が終ったからも、建設予定地の遺跡の発掘調査で日数をとり、今年四月に移転、開校が危ぶまれる状況もありました。しかし関係者の熱意と努力でやっと実現致しました。

友の名前が関係者多数の努力で残されたということ。さきに移管された堺市立堺高校は、学期側の強い要請にもかかわらず、堺西高校と校名の変更を余儀なくされています。現在、大阪府で地名を使わない普通科の高校は皆無です。そのような中で、清友の名を残していただけたことは、まことに画期的なこと、大阪府の英断であるといつてよいでしょう。府の楨居教育長さんは、大阪市内の古い小学校で「集英」「道仁」「精華」等、特色ある校名を持った学校があり、それぞれ親しみをこめて呼ばれている」と述べておられます。本校も名前を残していただきたことで、これからは府下の多くの普通科高校の中で、一きわ存在価値を持った、ユニークな学校にしていきたいと考えています。今年の一学生からは男女共学となり、男子生徒を受け入れるのは始めてのことであり、学校側としても、可成り緊張いたしました。その為、男子生徒受け入れの為の対策も、色々検討しました。長い女子校としての伝統をもった本校に、男子生徒が集まってくるかどうか心配でした。各校を廻って優秀な男子生徒を送ってくれるよう、P・Rもしました。そのような努力もあつたせい

で、幸い今年の志願者は予想外に多く、女子は五学区では一番の競争率となり、男子生徒も定員を可成り上廻りました。この為優秀な生徒を入学させることができ、男女共学のスタートとしては大変良い結果となりました。学校側としては、この機会に、より立派な学校にしていく為、教育内容の充実をはかると共に、生徒指導の徹底をはかる方針です。

現在男子生徒達は、上級生の姉さん達に押えられて、意外とおなしい学校生活を送っています。このままでは、覇気が少し足りないのではと思う位ですが、二、三年後、男子生徒が全学年揃った時には、又違った雰囲気が出てくることでしょう。幸い環境が良く、施設も旧柏村の校舎に位べて格段に立派ですので、生徒達も伸び伸びと快適な学校生活を送っているようです。四月二十八日には、創立三十八周年、府立移管、校舎落成の記念式典を挙行いたしました。関係者多数の参加がえられ、皆さんより清友の前途を祝福していただいたことは、大変有難いことでした。

卒業生の皆さん、新校舎へ機会を見て是非おいで下さい、最後に皆さんの活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

卒業生の皆さん、新校舎へ機会を見て是非おいで下さい、最後に皆さんの活躍とご多幸をお祈り申し上げます。



- 教頭 安田圭造
- 風薫る五月、若葉萌える季節がやってきました。占春会の皆様にはお変わりございませんか。ますますお元気で御活躍、御発展のことと思います。
- さて、清友高校関係者全員の願いであった「清友の名を残す」とが実現し、皆様の母校清友高校は、この四月から大阪府立清友高等学校として、新生発展の途につきました。
- 三月二十九日に旧校舎より新校舎への秒転が完了し、四月二十八日は創立三十八周年、府立移管、校舎落成記念典が盛大に挙行されました。
- これからは、由緒ある清友という校名のもと、三十八年の歴史と伝統を継承し、その上に新しい良い校風を創り出していかねばならないものと考えています。どうか皆様、御支援下さい。
- 次に学校内のことについてお知らせします。
- 一、教職員の異動について
(転退職)
- 東 国恵先生(書道) ↓ 国立徳島大学へ活動
 - 下津三保子先生(美術) ↓ 府立勝山高校へご転勤
 - 田島勤也先生(国語) ↓ 府立八尾東高校へご転勤
 - 水島尚子先生(英語) ↓ 府立守口北高校へご転勤
 - 西沢小枝先生(国語) ↓ 五四年三月三十一日付で御退職
 - 他に、産休講師の児玉みえ子先生(国語)、非常勤講師の中川治三先生(国語)、山口己三男先生(理科)、杉本栄先生(国語)、梅本靖代先生(書道)、角野美智子先生(英語)、実習助手の安藤美智子さん、杉本恵子さんが退職されました。
 - また事務室の植野久一事務長、松本寿子主事、辻村幾代江主事、仙丸佳子主事、校務員室の松阪スミさん、八田清さん達は、そのまま八尾市に残られました。
 - (転新任)
 - 内田健治先生(国語) 府立食品産業高校から御着任
 - 寺本実先生(理科) 愛知県立刈谷東高校から御着任
 - 橋爪寛先生(数学) 府立布施高校(定)から御着任
 - 小丸善明先生(数学) 府立貝塚高校(定)から御着任
 - 戎谷政照先生(保健・体育) 府立勝山高校から御着任
 - 有岡信一先生(国語) 仏教大学卒
 - 丸山真紀先生(国語) 関西学院大学卒
 - 藤崎弘史先生(国語) 関西大学

卒
岩谷智志先生(社会) 岡山大学

卒
岡田昌訓先生(理科) 大阪府立
大学卒

卒
竹見紳一先生(理科) 大阪府立
大学卒

池上敏一先生(美術) 大阪芸術
大学卒

堂本雅人先生(書道) 奈良教育
大学卒

永見篤志先生(英語) 京都府立
大学卒

山本治代先生(英語) 大阪府立
女子大学卒

鹿島 公先生(英語) 大阪府立
女子大学卒

他に、産休講師として高山正造
先生(数学)、非常勤講師として
平野早英先生(国語)、辰己真一
朗先生(理科)、成見順治先生(保
健・体育)、野田彰一先生(保健
・体育)、大出儀文先生(音楽)、
谷川恵子先生(美術)、田中きぬ
子先生(書道)、村田純一先生(英
語)、実習助手として永吉盛彦さ
ん、山本泰子さん、吉成潤子さん
が着任されました。

また事務室には、寺井久良事務
長、荒木正雄主事、田中克己主事
中沢一男主事、塩野恭子主事、山
際 睦主事、池上和博主事が、技
能員室には、原 満重さん、松本
ノブ子さん、義村 稔さんが着任
されました。

一、五三年度卒業生の進路
卒業生数 二五八名

進学者数 一二八名
就職者数 一一八名
家事その他 一二名
(主な進学生)

帝塚山学院大(3)梅花女子大(2)大
阪音大(1)天理大(1)花園大(1)英知
大(1)神戸学院大(1)大阪学院大(1)
(以上四年制)

帝塚山短大(1)金蘭短大(7)大阪成
蹊短大(6)大阪基督教短大(4)大阪
薫英女子短大(4)大阪信愛女子短
大(4)帝国女子短大(4)関西外語短
大(1)等

(主な就職先)
松下電産(4)八尾市農協(5)丸栄計
算センター(3)住友銀行(2)三和銀
行(2)星電器(2)柏原農協(2)三菱銀
行(1)大和銀行(1)三井銀行(1)塩野
義製菓(1)神鋼商事(1)大林組(1)高
島理(1)日興証券(1)大和証券(1)等

一、在校生について
本年度新入生より他の府立高校
と同じように男女共学となり、一
学級四七名で一二学級、五六四名
(女二八八名、男二七六名)の生
徒が入学してきました。現在、総
数一、一一〇名の生徒が在学して
います。二、三年生は従来の制服
を、一年生は新しいブレザー型の
制服を着用しています。最初の頃
は二つの学校が同居しているよう
な感もありましたが、現在ではそ
のような感じもなくなりました。

どの生徒も清友高校の良い生徒
達です。すすくと育ってほしい
と願っています。

一年生の男子生徒も、まだ女子

生徒に押され気味ながら、そろそ
ろ活動しはじめています。各クラ
ブの活動にも参加し、また男子向
きの野球、剣道、柔道、サッカー
等のクラブ、同好会も誕生しつづ
あります。目立った活動としては
昨夏、ソフトボール部が大阪代表
として福島県で行われた全国高校
総体に出場し、三回戦まで進んだ
ことがあります。

今年の体育大会は9月23日(日)
(雨天の時は9月25日(火))に、文
化祭は10月13日(土)10月14日(日)
に開催の予定です。是非御来校下
さい。



お
ね
が
い
!



演劇部の復活を

清友高校を卒業しまだ慣れぬ仕
事に学校時代を思い出して忙しい
毎日を送っております。先日、久
しぶりに後輩の演劇部員に逢い、
現在の演劇部の活動がまったくス
トップされ、練習場所から部室、
一番必要な舞台までが充分に使用
出来ていない事を聞き、大変に驚
いています。私も高校時代を演劇
部で過ごし、舞台上立ち、毎日毎日
練習にはげみ、コンクール出場作
品の為、汗を流してまいりました。
今こうして思い出してみると
私にとってあの感激は一生忘れぬ
ものとして誇りに思い大切にいた
しております。

その舞台が充分に使用出来ない
とは何の為の演劇部なのか。それ
に今年の春を最後にお退めになら
ないと思えます。

又、学校側があれだけ力を入れ
ていた文化祭活動も充分な設備が
ない為、出来ないとは、学校全体
の問題ではないでしょうか。クラ
ブ発表までも圧倒していた我クラ
ブ演劇も観る事もないと考えます
と残念でしかたがありません。

今年になって市立高から府立高
に昇格しそれに伴っていろいろと
問題が多いにしても、クラブ活動
の発展も期待されるべきです。
どうぞ一日も早く、演劇部活動
及び舞台の照明、効果設備の改善
の為、先生方の御協力をよろしく
お願いいたします。

昭和五十四年卒業生
伊藤 香寄

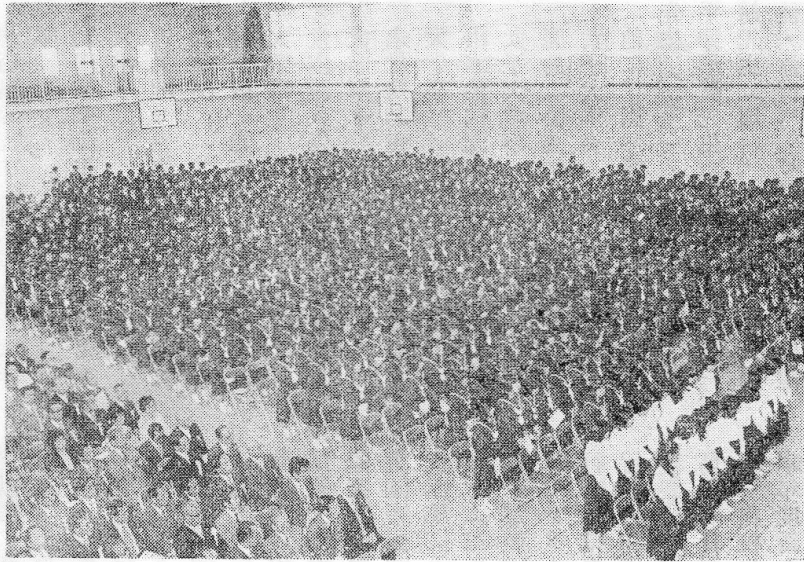
創立以来母校清友にお勤めになられた西沢先生が、この春ご
退職なさいました。つきましては、特に占春会のお手伝等最後
までして頂きましたので、卒業生から心ばかりの記念品を贈り
たいと思います。

一口 一、〇〇〇円

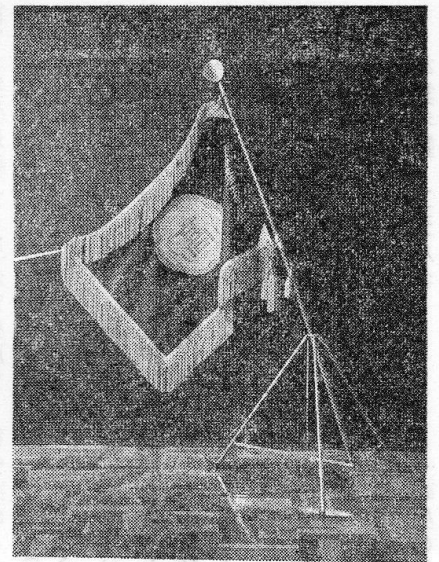
ご賛同の方は総会当日受付けます。郵送の方は(二十日必着
のこと) 書記 松谷照子(一期生)まで。

〒6 大阪市東住吉区田辺西之町六一 電六二一三五八一

式
典



校
旗

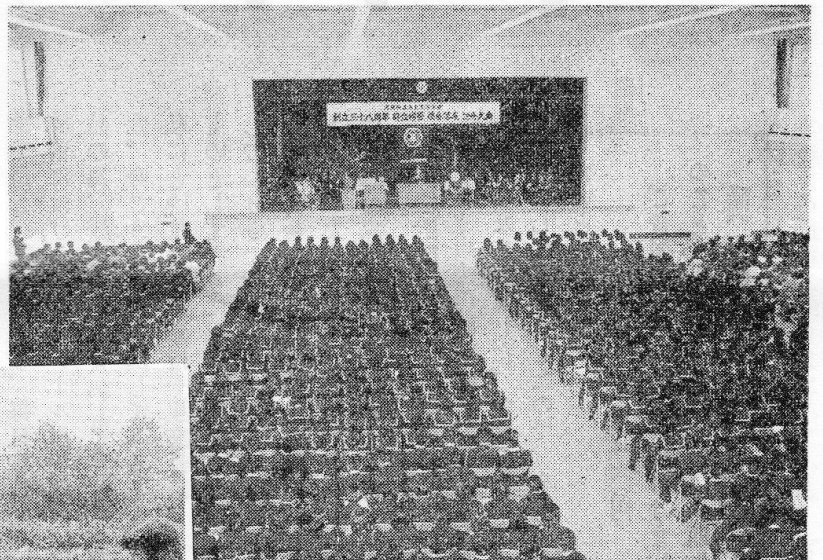


占春会より花束贈呈



創立38周年
府立移管
記念式典

式
典



受付風景

清友38年のあゆみ

年 月	要 項	備 考
(1) 清友学園高等女学校時代		
昭和15. 6.13	府立清水谷高女創立40周年、紀元2600年記念事業として、同窓会清友会が女学校設立を決定。昭和16年開校予定。校名を清友学園、用地を高安と決定。	校長生田鹿之丞 専任教員 八雲延代、浅井重次、山家鉄五郎、西沢小枝
16. 3.10	財団法人清友学園に清友学園高等女学校の設立認可。八雲延代校長事務取扱に就任。	生田校長により、本校教育の八綱領制定。教育方針定まる。
16. 4.11	布施市横沼町3丁目の仮校舎において開校。	新入生100名、4月10日に清水谷高女講堂で入学式。
16. 5.10	この日を創立記念日と決定。	生田校長により校歌制定。
16.12. 8	太平洋戦争勃発。	戦時下体制に入り、校庭に甘藷畑を作り、農作業に励む。
17. 5. 5	前府立清水谷高等女学校校長生田鹿之丞校長に就任。	
17. 9.23	現在の地八尾市柏村169に新校舎竣工移転。	木造二階建
19. 7. 4	学徒動員令下り、4年生、3年生動員。	4年生煙草専売局・製薬会社・3年生近鉄高安工場・中松ガラス工場にて生産に励む。
20. 3.31	第1回卒業式挙行。卒業後も専攻科生として残り動員。	生田校長、同窓会を占春会と命名。
20. 8.15	終戦。動員終り解散。	生田校長により校歌改定。
22. 4. 1	新学制により、清友学園中学校を設置。	中学入学生150名。
(2) 清友学園高等学校時代		
23. 4. 1	新学制により清友学園高等学校を設置。	学園に平和もどり、中一から高三までの学園となる。
26. 2.18	講堂兼体育館竣工。	春は「雛まつり」秋は「菊花のつどい」「バザー」を催す。
26. 3. 8	学校法人清友学園となる。	それらをやめ、文化祭とする。
28. 1.30	校長生田鹿之丞退職。府立清水谷高等学校教諭吉持博校長に就任。	体育大会は前より引つづき催す。
31. 8.31	清友学園中学校を廃止。	生田前校長30.6.12逝去。 この頃より八尾市に砂管の話もち上る。 八尾市に移管決定。
(3) 市立清友高等学校時代		
31. 9. 1	設置者を八尾市に変更、八尾市立清友高等学校の設置認可。 清友学園高等学校の教職員および生徒全員を市立清友高校に継承し、吉持博校長に就任。	清友の校名、校歌、校章、制服、同窓会名、女子校としての創立の精神はそのまま引きつがれる。
31.10. 8	この日をもって開校記念日と決定。	
35 ~ 40	鉄筋三階建、体育館兼講堂、校鉄増改築。	この間、全校に清新の気みなぎる。
41. 2.15	創立25周年、市立10周年記念事業として食堂・図書館竣工。占春会より中庭の芝生、樹木寄贈。	
41.10. 7	記念式典挙行。記念誌発行。	25年の歩みをまとめて記念誌作成。 吉持前校長42.7.3逝去。
42. 3.31	校長吉持退職。	
42. 4. 1	富田八郎校長に就任。	入試の総合選抜制とからんで、清友の府立移管問題起こる。
45 ~	府立移管問題起こる。 八尾市および大阪府と接衝。 用地の決定遅れる。	職員、PTA、占春会、移管問題促進に努める。
50. 3.31	校長富田八郎退職。	
50. 4. 1	小西康弘校長に就任。	
53. 2	54年度に府立移管の予定。 新校舎建設用地干塚と決定。	実現の日に備えて諸準備。
54. 4. 1	八尾市干塚102に新校舎竣工移転。	清友の校名、校章、校歌、同窓会名は38年の伝統ある学校としてそのまま引きつがれる、但し制服のみ新1年生よりブレザー型に変えられた。
54. 4.28	創立38周年・府立移管・校舎落成記念式典挙行記念誌“はばたく清友”発行	

清友とともに

西沢 小枝

喜びの日

美しく晴れた四月二十八日の朝
 緑の山なみを右に植木のある道を
 暫く行くと、鉄筋四階建の立派な
 校舎が左に見えます。山の見える
 美しい環境の中に堂々と建つわが
 学舎清友。見上げる門標には「大
 阪府立清友高等学校」と鮮かに書
 かれております。「ああ、とうと
 うこの日が！」と喜びの涙が溢れ
 そうになりました。この日の来る
 のを願って、どんなに多くの人々
 が苦勞を重ねたことでしょう。

この日の式典の最後に、私は喜
 びの心をこめて清友を賛える歌を
 朗読しました。万感胸に迫る思い
 でしたが、あの時の感激は私の生
 涯の思い出として永久に消え去る
 ことはないでしょう。「清友よ、
 よくぞここまで成長した」と、い
 くたの風雪に耐えてここまで生き
 繼いできた清友に、心からの賛辞
 を贈りたい思いでいっぱいです。
 三十八歳の清友は、今輝かしい前
 途を約束された壮年に大きく成長
 しました。わが子の成長を見守る
 思いで、清友のけなげさを賛え、
 前途を祝福したいと思います。

喜びの園

みそとせ余り 八とせ経ぬ
 二戦火のあらし おさまりて
 平和ふたたび かへりきぬ
 ゆかしき気品 まことある
 優しき心 身につけて
 学びの園生 清友を
 巢立ちてゆきし友あまた
 三開けゆく市 八尾にして
 清水の流れ 絶ゆるなく
 新しき息吹き 加へたり
 師弟一如と 相和して
 愛と知恵とを 磨きつつ
 平安なりし をとめ子の園
 四流れつきせぬ 清友の
 いのちまもりて新しく
 府に受けつがれ出で立ちぬ
 をの子をとめ子ともどもに
 真理もとめて 学ぶとき
 この学び舎は とはに栄えん

悲しみの日
 昭和十六年の春、五名の先生が
 新入生百名を迎えました。私が就
 任した時はまだ生徒が居らず、就
 任式はありませんでした。爾来三
 十八年、多くの方々にとめぐり会い
 別れてきましたが、自分だけは永
 久に清友に在る様な気でいまし
 ました。いよいよ今度は送られる身と
 なりました。
 清友最後の日三月三十日、すつ
 かり荷物を運び終ってガランとし

た高安の旧校舎の中庭を、私は無
 量の思いで歩いていました。創立
 当初の木造校舎を前に、市立にな
 って建てられた南北の鉄筋校舎の
 間の、芝生のある中庭にいた時、
 相馬先生が私の姿を見つけて、写
 真を撮って下さいました。再び返
 らぬあの時を、永久に残して下さい
 ました。清友最後のなつかし
 い思い出の日の記念として大切に
 しています。悲しかった清友最後
 の日、でも私は清友に別れるとは
 思えず、清友を卒業してゆく心境
 です。随分長い間かかって清友を
 卒業して、占春会の仲間入りをい
 たします。清友を去るのではあり
 ません。さびしさの中に安緒の思
 いをこめて、私の母校となった清
 友の輝かしい未来に祝福を送りま
 す。

清友との出あい
 子供もなく夫に死に別れた私は
 この世でし残した母親の仕事を、
 先生となつて果したいと思ってい
 ました。丁度その時、母校の清友
 会が女学校を創設するということ
 を聞き、これこそわが骨を埋める
 所と、生田鹿之丞先生の許へ飛ん
 でいきました。こうして清友にめ
 ぐり会えた私は、清友をわが心の
 支えとも生きがいのとも思つて、清
 友に明け清友に暮れひたすら生き

てきました。この上ない幸せでし
 た。現実には母となれなかったが
 母の心で生徒を見ていこうと願っ
 ていた私のことを、「清友のお母
 さん」と呼んでいただいた時は、
 ほんとうに嬉しいでした。しかし
 私の心が至らず、生徒と心が通わ
 なかった時は、子持たぬ私には母
 の慈愛の心が足りないのではと、
 自らを責め、悲しい思いをしまし
 ました。

清友によせるうた
 吾子あらばこの年ごろと思いつつ
 子等と過して三十余年
 この道に生きむ思いのさだまりて
 三十余年は夢と過ぎにし
 清友はわがいのちなり清友に支へ
 られつつ生きて来しはや
 教ふるは哀しきものよ歎くとき苦
 薩行よと思いつつ来し
 今日よりは母校となりし清友の栄
 行く日目を祈りつつあむ

一期生る組 中 喜美子
 (旧姓木村)
 この道一筋と言う方々を多く知
 っている。この道一筋に生きる。
 私はその方達を尊敬する。なか
 か人生一筋の道を生きて抜く事は至
 難である。今私達の身近にこの道
 一筋。清友一筋に生きて来られた
 西沢先生を思う。幾年かの歳月を
 教育一筋に歩むにはどれ程の努力
 忍耐、精進、つまづき、犠牲、援
 助、体力、神経：たくきんの事柄
 があつた事だろうと思う。それら
 を踏み越えて来られた確かな年輪
 は素晴らしい尊いものである。清
 友ひとすじ先生の歩み始めに私達
 があつた。年度に過激を加える戦
 争の渦中、英語は廃止、リズム体
 操よりは教練が重視された兵隊の様
 な行進が思い出に残る時代にも、
 清友内は静かな優しさがあつた事
 を覚えてる。廊下ですか違う先
 生はいつも静かで窓際をつねに通
 つてられた様に思う。声張り上げ
 てと言う事のない、こもつた声を
 懸命に出すと言う感じの口調で叱
 られたな。梓の中できちんとして、
 そこからはみ出す事をゆるさ
 れない。と言う感じがしたが、成
 長して思い起せば理解出来る事
 ある。なんせ世間知らずの気儘娘
 どんなにか御苦勞な事だつたらう
 と恥じ入る。古文が好きで先生の
 講義を楽しんで勉強した時代。懸
 命に教えられる様子はいかに国文
 学を愛してられるかが伺えた。そ
 れはやはり私達に伝わらぬはずは

清友最後の日三月三十日、すつ
 かり荷物を運び終ってガランとし



ない。だから国語に関しては私達の年代は強いと、みんな思っている様である。和綴の美しい源氏物語が我が家にあつて解らぬままに読み過ぎたが、今もう一度新めてよみ返し勉強したいと思う。動員中も寸暇をおしんで勉学の道を開いて下さった。あの頃の学びの時間の貴重さは今も心に残る。当時

「大阪の下真中の心斎橋がやられたら日本もしまいや」と人々の話を聞き安心していた私宅も「終いや」の空襲に会い、その頃より価値もかも嫌になつて動員をよく欠席した。しかしその時も先生はいつも毅然として私達をよく指導して

られた。地震もあつた。空襲もあつた。やはり歩み始めの私達師弟は生死を共にし、辛苦に堪えてきた思い出深い間柄である。戦後の学校教育の変遷にどれ程の尽力をつくされたかは、私の測り知れぬ位と思う。はばたく清友を拝見して紆余曲折の後、確立された清友高校の今日の姿に先生始め関係された方達に感謝の意を表しつつ、

ページをくると現代子の自由を謳歌する明るい顔に時代の流れを感じる。ここに退職を迎え心から清友一筋、教職一途にこられた先生に心より最敬礼を致します。さき

努力精進し、而も毅然として節操を失わず時流にぬきんで、私達を指導し、清香を放たれた先生に深い感謝の思いをこめ、この一行

西沢先生との出逢い

清友高校そして西沢先生又級友なんとすばらしいめぐり逢いだろ。私にとつて親同様大事にしな

くはならない人である。私は学校を卒業して半年目に大病をしました。其の時の苦しみは口では表現出来ません。泣いて泣いて泣き暮れました。でも生きな

くはならない負けては駄目だと思いつつも心はくぢけます。そんな時西沢先生は何度となく御見舞に来て下さり慰さめ激ま

していただきました。すばらしい先生です。三十八年間なんと長い月

日を清友高校一筋雨の日も風の日もあの川沿の道をあのかわいらしい足で歩いて通われた。何度か悩む事の出来事も有つたことでしょう。

物をかりておおくりします。梅花和雪香、梅花、雪に和してかんばし」と。

さ、その後のなんとも云えない淋しさむなしさが心につたわつて来ます。源氏物語の好きな先生、宇のきれいな先生、俳句の好きな先生、先生のお顔を思い浮べる時、

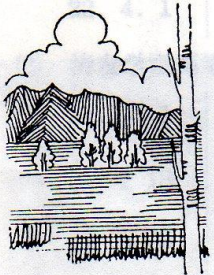
あのにこやかな先生の口もと、私は一生先生のお友達にさせて下さい。

先生には六千人と云うたくさんの子供がいます。なんとすばらしい事でしょう。これから余生数多い想い出とたくさん夢をもつて私達と一緒に頑張つて下さい。

先生将来「清友荘」と云う憩いの家を造つて先生方や卒業生のたまり場にしませんか。へへ……最後に西沢先生の御健康と幸せの為に大声で叫んでみます。

先生いついつ迄も若くいついつ迄もお元気で又お逢いするのを楽しみにペンを置かせていただきます。

三十年卒 有川育子



西沢先生を語る

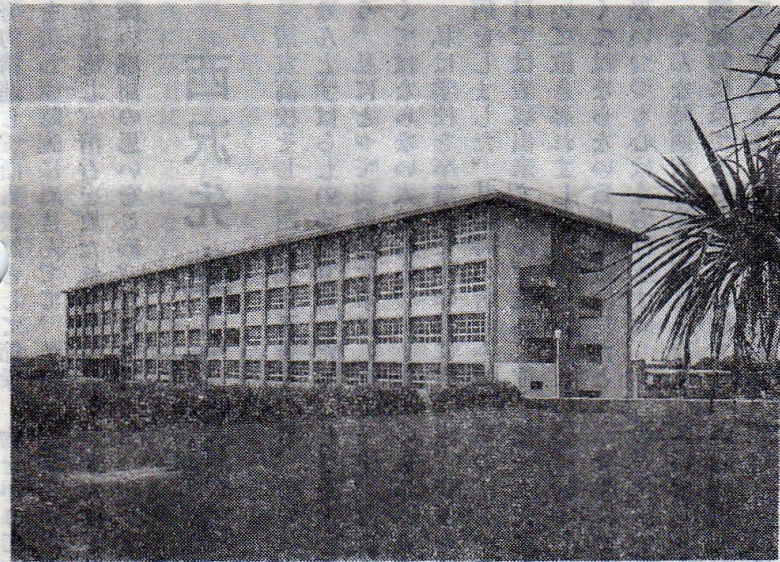
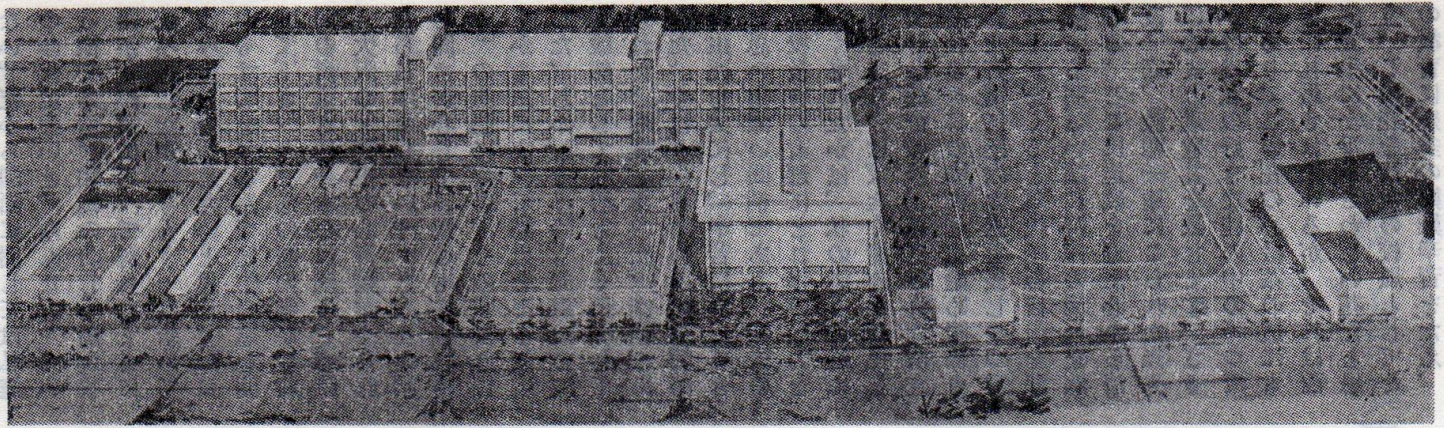
39年卒 貞広睦子(高橋)

私から見た西沢先生は、第一に優しいおばあちゃま先生という事。第二に一生懸命やる事によつて喜びを得られるという事を教えて下さつた事。第三に表面にない秘めた意志の強さを持った先生であるという事です。まず第一の点それは、誰でもうなずかれる事だと思ひます。あまりスマートではないけれど(ゴメンナサイ)いつもニコニコ笑顔の先生は慈母観音の様に回りの人を包み込み力があります。時には、甘えてみたり、又叱られたり、母の様な先生が私は好きです。第二の点それは演劇部を通じて、先生から教わつた事です。私は一年生の時夕鶴の「う」を、発表会で演じるという大

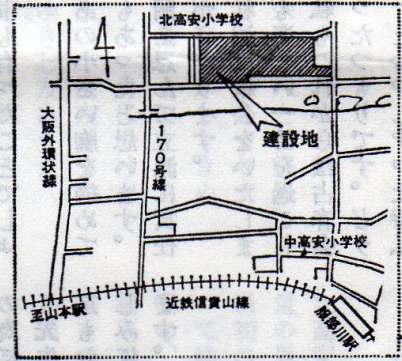
先生のお陰と感謝しています。そして今も主人が主役、私は脇役と上手に演じて夫婦円満なのを付け加えておきます。第三の点それは教師歴?年という事にも解かる様に、一つの道をずーと通してこられたというその意志の強さに敬服致しております。私など結婚して三人の子供がおりますが、我身を分けた子でさせも時にはうとましく、一日でもいいどこかへ消えてくれないかと願う程ですのに、先生は多勢の、それも女子高生という一番やつかいな娘達を、分け隔てなしに愛情を注いで下さつた事。時には体の調子の悪い時や、気分がすぐれぬ事もあつたらうと思われまことに私には先生の怒つた顔が思い出されません。先生を思い出すのは、いつも笑顔の温厚な顔なのです。

あんな小さな体の中にイヤな事をしまし過ぎてよく病気になる事だと思ひます。先生、先生は私にとつて偉大なる人生の師であり先輩であると思つています。私などまだまだ先生の足元に及びませんが、今先生と呼ばれる仕事を持っています。人にものを教える難かしさ、そして理解してもらえた時の喜びをヒシヒと身に感じながら先生から教わつた事の万分の一でも伝える事が出来たら、これが先生への恩返しになると一生懸命励んでいます。先生いつまでもお元気で暮らして下さいます。

有頂天になつていた、私に、セリフ一つ一つの意味やアクセントを何んども練習させ演劇のもつ重みの様なものを教えて下さいました。又、演劇は皆の心を出し合つて一つの物を創り出す物、それは一生懸命やる事によつて喜びを得られるという事を教えて下さいました。主役だけでは劇は出来ない脇役や裏方の力がどれだけ必要かという事を、私はこの裏方の精神に強く感化されました。短大を出て東京の出版社へ編集として入社したのも、又大阪へ戻つて商社の販売促進課で営業員の裏方を喜びと出来たのも



全 景

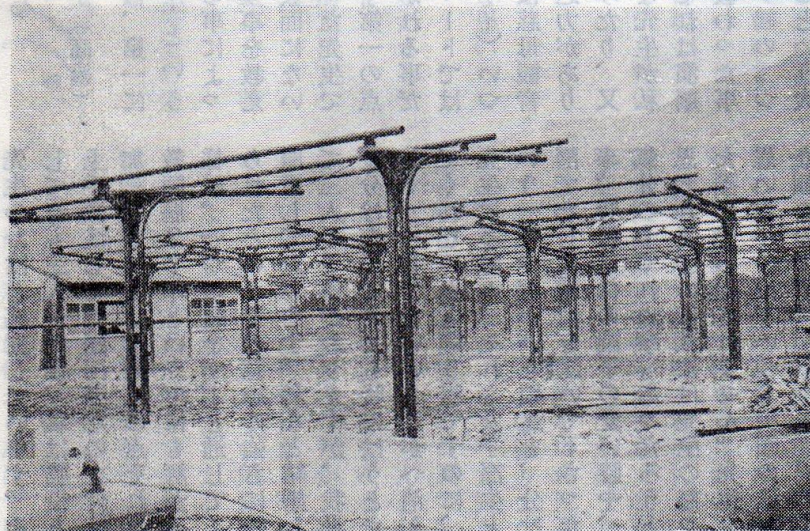
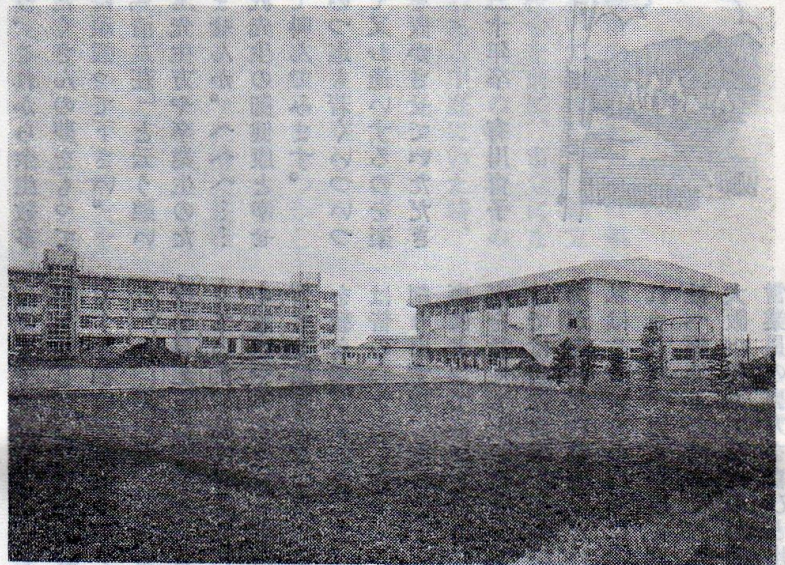


体育館の概要

構造規模 鉄筋コンクリート造 3階建
 建築面積 1,624.411 m²
 延床面積 3,031.244 m²

(体育館内訳)

- 1階 柔道場・剣道場・器具庫・防具庫
 食堂・厨房・更衣室(男・女) 倉庫
 便所(男・女)
- 2階 競技場・ステージ・控室・器具庫
 体育教官
- 3階 ギャラリー



自転車置場

新校舎紹介

副会長 中易 敬子

高安山の麓千塚の里に
 府立清友高校誕生！
 白亜の校舎広大な運動場にて男女
 共学の授業開始さる
 すばらしい環境のもとで勉学にク
 ラブ活動に在校生の活躍を望む

園 の 春 占

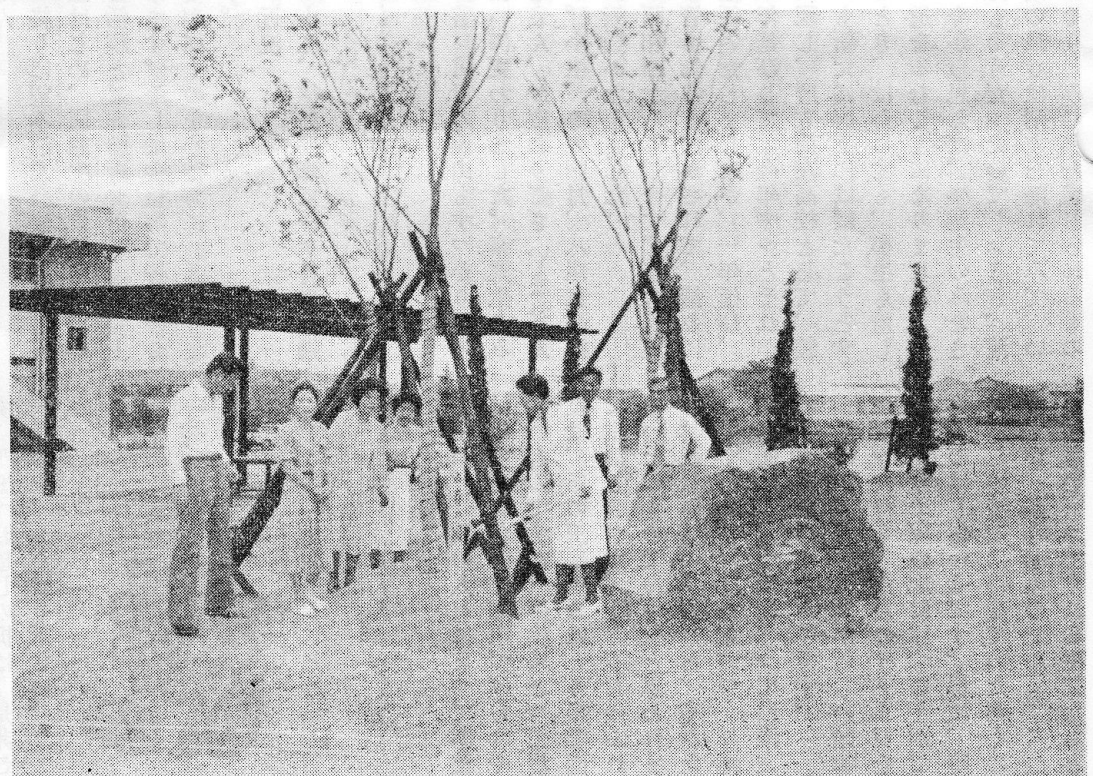
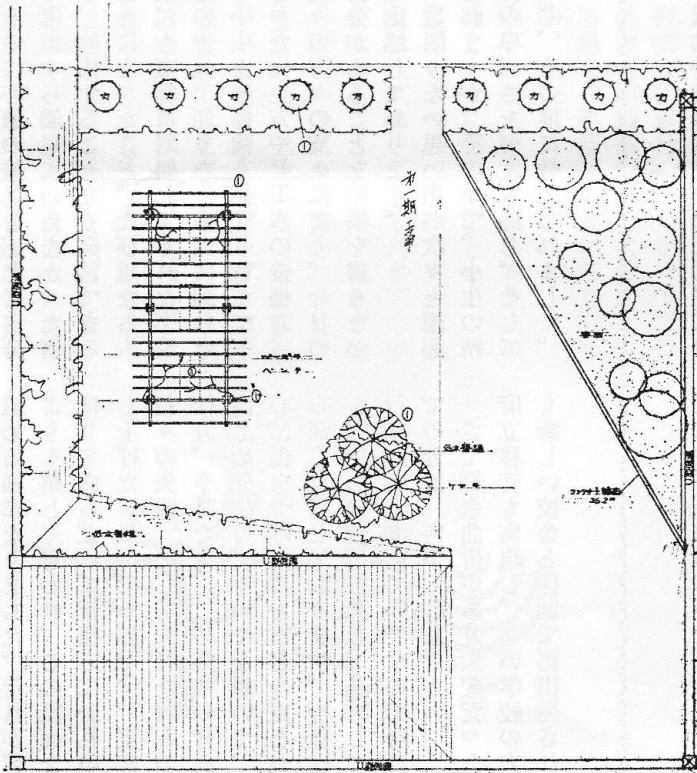
第一期造園に着手！

54年5月26日(土)

鋤入式行う！

学校側立合いのもと

完成見取図



学校側

安田 教頭
 寺井 事務長
 籾 先生
 藤岡 先生

占春会

河合 会長
 中易 副会長
 中西 書記
 施行者 宮脇 正治

東 国 恵

清友へ赴任して辞令はもらったものの不安で二十一日の給料日に金一七、三〇〇円をもらってやっ

この間に小生の人格形成大き

お別れ

清友高校卒業生の皆さんお元気ですか？私は今、十一年間の短かさ

ます。

顧りみまずに当初は会議で発言するの

数限りない思い出が次々と想起

る機会があればいいなと思っ

さて、私は府立勝山高校に転動

美術選択は男子が多く美術室は

清友高校も場所がかわって何と

なくなじみがうすい気がします

そしてその積み重ねによって序々に物事を正面から見、堂々と取り

在校生や先生方の声を聞くとなつ

ほんとうに素晴らしい学校であ

清友高校に幸あれと祈りつつペン

不津三保子

そろそろ軌道に乗りはじめている

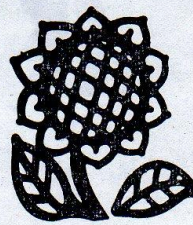
拝啓 信貴の連山もすっかり夏の

昭和四十八年、今すぐにも府立

いも新たに府下にはばたこうとす

友の良さは清友を離れてみて、い

ぎ、少し慣れました。先日も家族

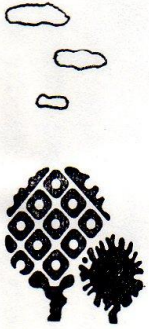


です。一般の人々にとつて学校

はいそのものであったと思われま

したがって、清友が新しい建物

い、慕い寄ってくる生徒たちと



話すとき、清友の気風がそのままその近代的な新しい校舎に移転しているのを感じます。そればかりでなく、あの柏村の学び舎と似ても似つかない大きな今の新校舎が清友の校風にかにも似つかわしく見えてくるのは不思議です。

小生は今、新しい職場でさっそく一年生を担任し、他所で世話になっっているような落ち着かない生活を送りながら、みんな家族のようにならなるとまると、教師も生徒もどこか好意的なきずなでつながついていた清友のよさをしみじみと感んでいます。

卒業生のみなさんも、千塚の清友を訪れられるならば、きっと新しい学校の中に、あの「清友の心」をみつけれられることと思えます。

どうか、清友はすっかり変わってしまったなどと言わないで、度々母校をたずねていただきたいと思えます。

小生を何とか一人前の高校教師として育ててくれたのは、清友であると思っています。この六年間に、清友で、清友の人々から多くのことを学ばせていただきまし。そのことを末筆ながらみなさんに衷心より御礼申し上げたいと存じます。最後に皆様方の御健勝と府立清友高校のますますの御発展をお祈り致します。

なお、八尾東は清友のついお隣ですので、ぜひ当校の方へもお立ち寄り下さい。

敬具

占春会のみなさん

田島 勤也



清友高校を離れて、早や一ヶ月が過ぎましたが、この間は新しい学校に早く慣れようと、毎日必死の思いでした。右も左もわからず、新入生とちっとも変わらない有様でした。五月に入り、ようやく、教室の場所や生徒達や先生方の顔と名前がほぼ一致するようになり、四月ほどのとまどいはなくなり、四月ほどのとまどいはなく、事の方が多いようです。ふと、この三月に卒業した生徒達の事を考え、会社に学校にと、私と同じ様な思いをしているのではないかと、その大変さを推し量っている次第です。

それにつけても、私は今ほど痛切に清友の教育が如何にキメの細かいものであったかを感じずにはいられません。現在私は新しい学校で担任をしているのですが、大規模校でしかも生徒の数が増えれば増える程、教師と生徒、教師と教師間の関係を密にし、真の意味で団結と協力と話し合いの場が必要ではないかと考えます。

清友高校では一つの事を解決するにも何時間も話し合い、最善の方法をみんなの一致の上で、すべ

てが行われていた様に思います。生徒達も自主的にどんどんと話し合いの姿勢をみせますし、この態度が問題のよりよき解決と方向性を見出し出していたように思います。

私がかつて清友で担任をしていた時にも、この様な場があったからこそ、クラス運営をやっていたたのではないかと思うのです。清友での担任の3年間は今思うに実に実のあるものでした。もし、この3年間を経ているいなかったならば新しい学校でのクラス運営はどうなっていたであろうかと、つい考えてしまいます。

今、校庭で体操をしている生徒達を見てみると、場所といい、男・女の生徒達といい、何もかもが違っているはずなのに、かつて清友生が行事の際に見せた、あのエネルギーとひたむきさが目に浮かんできて、ふと錯角をおこしてしまいそうなのです。

どこの学校でも同じでしょうが個人の能力や量を伸ばす機会はいくらでもありますが、全体の方向付けとその実践を行っている学校は、清友を含めても数期ないのではないかと思います。このことは又、清友高校の誇りでもあり、伝統でもあるといっても過言ではありませぬ。皆さんは、このような素晴らしい学校を卒業された訳ですので、自分だけの秘めたるものにするのではなく、他の人達にもこれを広めていっていただきたいと

思います。私自身、清友での経験、体験をもとに、今一人頑張っています。その場の事情で一定の形を取りにくいとは思いますが、自主的に、正しいと信じる事を行うという態度を貫いていただきたいのです。何もせずに、あるがままの受身的な状態ではなく、自ら働きかける能動的な生活を、会社に学校にと、送っていただきたいと考えます。清友での貴重な三年間の経験や体験を心の糧として、今後の皆様のご活躍を心からお祈り致します。

水島 直子

☆ベテランの藪先生が引き続き同窓会のお仕事を手伝って下さいます。更に西沢先生の後藤岡先生がバトンタッチされて嬉しい事です。お二方の先生いつまでもヨロシクネ

☆各回期代表の皆さん、お手許の変更された名簿至急にコピーして藪先生宛送って下さい。毎年困っています。



はばたく清友

母校清友の38年のあゆみを1冊の記念誌として先生方の努力で作成されました。

新聞でも珍しい記事として掲載されたので話題を呼んでいます。“はばたく清友”の記念誌も残り少なくなりました。

ご入用の方は至急購入して下さい。何しろ部数が少ないので、申込み順に受け付けます。足りない場合はご容赦下さい

申込先

〒577 東大阪市足代新町2丁目48番地

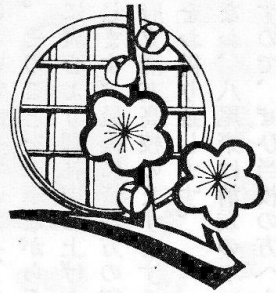
河合 隼子

TEL (06) 781局0597・1616

1冊 ￥1,000円

送料 ￥300円

新占春会員として



昭和54年第二十三期生

谷 元子

八尾市立清友高校最後の卒業生として今年二月に卒業し、現在花園大学一回生としての毎日を送っている私ですが、何故か高校生活がとても懐かしく思い出されるのです。古ぼけた校舎、暖かく見守り御指導下さった先生方、そして仲良しだった友人達……。卒業してから知った何とも表わしようのない複雑な気持ち……。

清友も今年から新しい形で輝しいスタートを切っています。どんなと残り残されていくような気持ちの中で今、同窓会「占春会」の一員として迎かえていただいて私も又高校と同じく清友卒業生としての誇りを持ってスタートを切らなくては、と、心新たにしています。

占春会：まだ私には未知のものですが清友を愛し清友の繁栄を願っておられる先輩方が築いてこられただけにやさしく、懐かしい響きが感じられその占春会一員となつた私はうれしく、そしてちよっぴりくすぐったい気持ちの中で、

会に積極的に参加させていただきたいと思っています。

清友の卒業生の皆様方がいつまでも清友を忘れずにいて下さるよう、と、願わずにはおられません……。

昭和54年第二十三期生

雨森富三子

幸福の限界を否定も肯定もしません。歴史の中に向上も衰退も共に存在しその存在が個々に分担されて人間は進歩して行くものだと信じます。祖父母、両親そして私が一家を向上させれば微々たる存在であつても歳史の一页を書き進めていくのだと思います。変えるに進めるとでは似通つたニュアンスですが相反する意味を持ちます。歴史はぬり変えるものではなく自然の姿を尊ぶものだと思います。より一層向上努力する事もほんの少しの衰退を取り除く事も進歩の一面に変わりありません。現世での個々の評価を神仏は望まれません。転生し輪廻する事が人の道であり質でありその過程に悲喜もごもがありそして人間の恵智で自分自身を浄化して行く事これが生き様だと思います。

もし親がその資格で子供を叱るのであれば誰も尊敬しないでしょ。愛情からのみそれが信じられ相互感が生まれます。叱られる側に論理があるとすればそれは素直な清い心以外に説得を受け入れないでしょう。女としての薫りある

清い心を身につける為に清友に学び大学を親等の愛情で得た私は素直で努力を惜しみません。獅子の獅子たる由縁はネズミを取るにも全力をつくす処にあると言われます。母校清友を愛する私。清友高校が培つてくれた三年間の私の人生への基礎が間違いでなかったと私の目で確かめる為に随分と長生きしたいと思います。占春会の諸先輩と共に清友高校の発展を祈る心を心として皆様と同様清友高校時代の心を大切に育てて行く日々であれかしと祈ります。

占春会の担当に

藤岡先生

占春会の皆様、お元気でいらっしゃいますか。

長かりし歩みなりけり

八尾移管府立移管と生きつぎて

来し

高安の里に生まれて清友の

流れはつきざいよよ栄ゆく

と詠まれ本校創立以来38年清友と共に、歩いてこれ、長い間、占春会のお世話を、やってこられたベテランの西沢先生の後を引きついで、未熟者の私がお世話をさせていただきます。

念願の府立移管、新しくはばたく清友と共に一層、皆様の占春会の発展向上に微力ですが、お伝えさせて、頂く所存でございます。前任の西沢先生同様よろしく

お願い致します。

一期生ろ組

日時 五十四年六月七日

場所 地下鉄東三国井戸平

出席者 西沢先生以下十三名

母校創立以来三十八年の長い職生活を終えられた先生を、囲んで、ささやかながら御慰労申し上げます。

まだまだこれから、お習字や、源氏物語などお勉強なさるとお聞きして、ますますの御健康をお祈りし乍ら別れを惜しみました。

幹事 寺島、御宮司、羽田

五・期生

日時 五十四年三月十日(土)

場所 平岡山荘

出席者 大津先生以下十四名

雨のそぼ降る中、梅林で有名な枚岡山荘で、恩師大津先生を囲み五期生のクラス会を開きました。

久し振りに皆と逢い、数々の思い出話に花が咲き、楽しく和やかな

数時間がまたく間に過ぎ去りました。大津(現高村)先生は、いつも変らぬ苦々しさで出席して下さいます。次回は皆様興って御参加下さい。

幹事 前田・福島・加納・尾崎

西田・松川

編集後記

☆会報10号を発行してホットする間もなく次の11号の企画に頭を悩ませています。嬉しい記事悲しい記事どんどん皆さんのニュースを送って下さい。

☆そろそろ会報にもPRの頁を設けては?という声も……決定しましたらよろしく。どんな広告も大歓迎早くそうなりたいものです。